

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月27日

埼玉県知事

大野 元裕 様



提出者

住 所 東京都板橋区本町23-23

氏 名 リンテック株式会社 代表取締役 服部真

代理人 執行役員 熊谷工場長

電話番号 03-5248-7711

熊谷工場 048-539-1212

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	リンテック株式会社 熊谷工場
事業場の所在地	熊谷市万吉3748番地
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	パルプ・紙・紙加工品製造業
② 事業の規模	253億
③ 従業員数	592人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙 図1~3

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

(参考様式) <法律第12条第9項の関係>

産業廃棄物

事業の概要

資本金	23,355百万円(令和5年3月末現在)		
従業員数	5,418人(令和5年3月末現在)		
製造出荷額等又は元請完成工事	熊谷工場	253億円(令和4年度)	
製造概要、製造等フローシート (建設業においては、排出概要、排出等フローシート)		工場配置図 (建設業においては、現場配置図)	
別紙(図-1) 排出する産業廃棄物の種類： ・汚泥(製紙スラッジ) ・木くず ・紙くず ・廃プラ ・金属くず ・燃え殻、ばいじん ・水銀使用製品産業廃棄物(蛍光灯)		現場の住所(地番)等： 埼玉県熊谷市万吉3478番地 配置図は別紙(図-5)	
建設工事請負実績(件数、金額)※1		(件 万円)	
事業展望		廃棄物発生フロー	
特殊紙、剥離紙、剥離フィルムの生産量は、横這いと予測している。		別紙(図-2、図-3)	
担当者	所属	環境課 職名	課長 氏名 電話

※1については、建設業以外の業種は記載の必要はない。

(参考様式) <法律第12条第9項の関係>

産業廃棄物

イ 計画期間	令和 4 年 4 月 ~ 令和 5 年 3 月	
ロ 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
廃棄物処理に関する管理組織図 別紙(図-4)	産業廃棄物 処理責任者氏名	環境課 課長
	廃棄物処理施設 技術管理者氏名	焼却施設 原動課員 脱水乾燥施設 環境課員
ハ 産業廃棄物の排出抑制に関する事項		
<p>・各工程の歩留向上を目指す。 製紙スラッジについては、定着剤検討等による歩留向上、白水回収及び除塵設備の管理強化により、スラッジ発生量を減少させる。</p>		
ニ 産業廃棄物の分別に関する事項		
<p>・廃棄物置場に区分けして分別を継続する。</p>		
ホ 産業廃棄物の再生利用に関する事項		
<p>PETフィルム、ポリエチレン固ロスなど廃プラスチックは殆ど有価にて再生。段ボール、紙類はリユース、サーマルリサイクルを実施、製紙スラッジも有価扱いの再生利用を増加させる。製紙スラッジ；畜産の敷料、焼却灰；セメント原料、金属くず；破碎熔融、木くず；再生ボードとして再利用。</p>		
ヘ 産業廃棄物の処理に関する事項 (産業廃棄物の分別及び再生利用に関する事項を除く)		
<p>焼却施設(流動層ボイラー)から排出される砂について、管理埋立処分していたが洗浄して再生砂として再利用する。</p>		

産業廃棄物計画書(別紙)
(法律第12条第9項の関係)

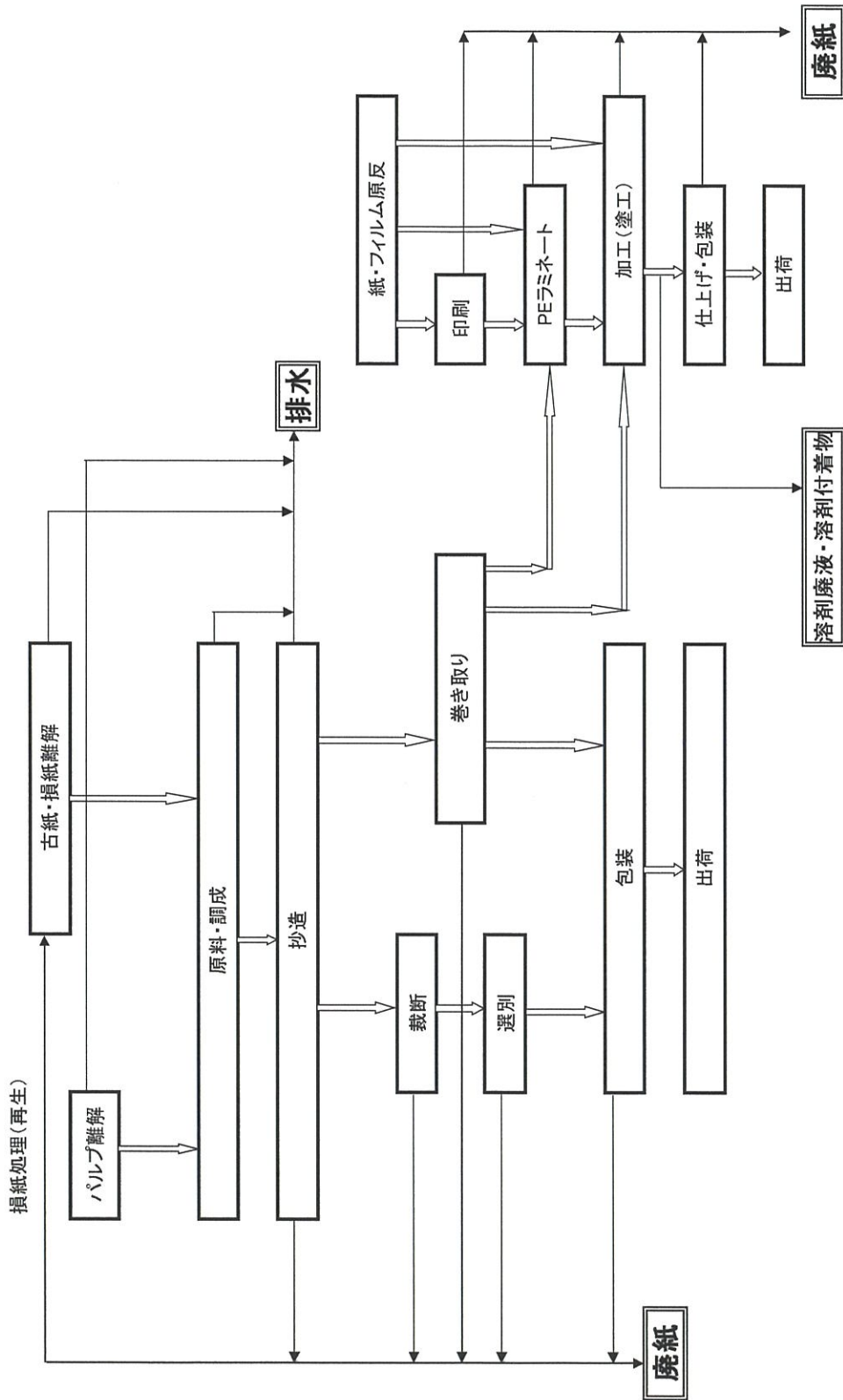
単位:トン

コード	種類	01	02	06	07	08	09	13	19
		燃え殻	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ガラスくず	金属くず	ばいじん
	1年度(令和4年度)産業廃棄物の実績発生量	37	10,599	148	5,759	156	0	79	371
	①産業廃棄物排出量	37	10,599	148	5,759	156	0	79	371
	②自ら直接再生利用した量	0	0	0	1,556	0	0	0	0
	③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	0	0	0	0	0	0	0	0
	④自ら中間処理した量	0	10,599	0	4,199	0	0	0	0
	⑤ ④のうち熱回収を行った量	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑥自ら中間処理した後の残さ量	0	1,440	0	371	0	0	0	0
	⑦自ら中間処理により減量した量	0	9,119	0	0	0	0	0	0
	⑧自ら中間処理した後に再生利用した量	0	1,440	0	0	0	0	0	0
	⑨自ら中間処理した後に自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑩自ら中間処理した後の処理業者への委託量	37	0	14,898	375	156	0	79	371
	⑪優良認定処理業者への処理委託量	0	0	133	4	0	0	0	0
本年度の計画目標									

図一1 熊谷工場 工程図

洋紙製造工程

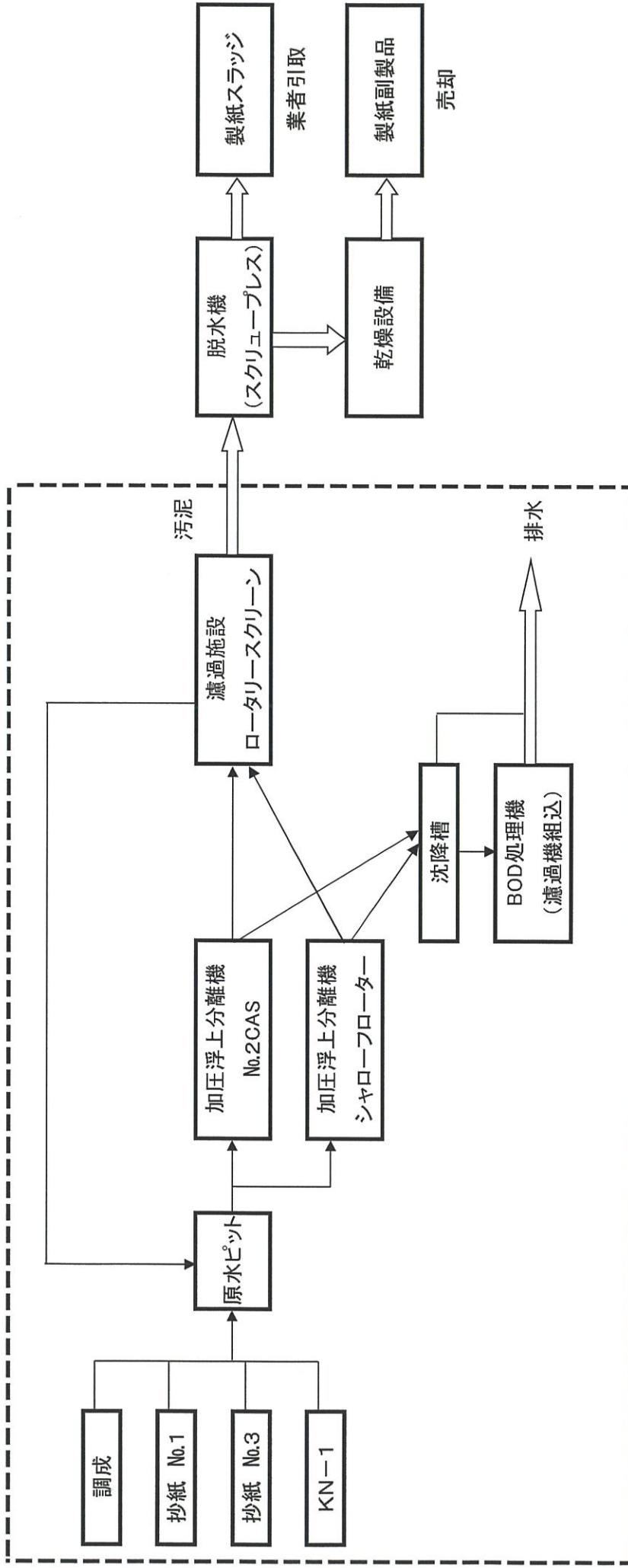
加工紙製造工程



木くず;パレットの戻り
 金属くず;一斗缶、ペール缶、番線、他
 廃プラ;包装用PE・PP

廃プラ(フィルム・PE)

図-2 汚泥処理フロー図



図一3 廃紙処理フロー一図

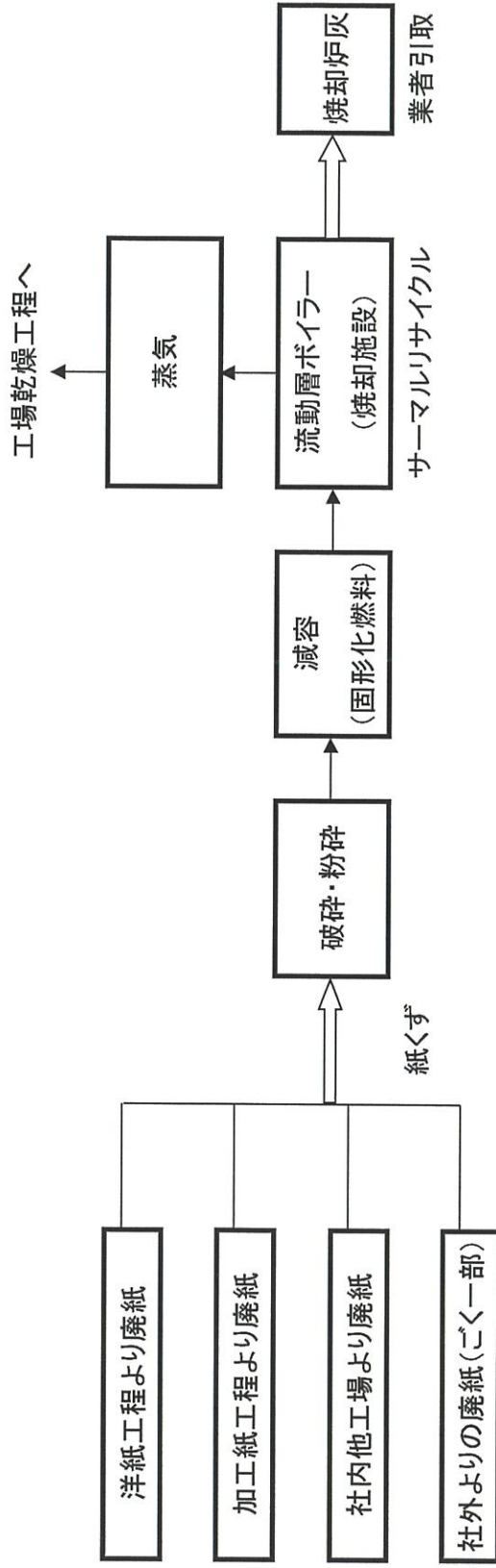
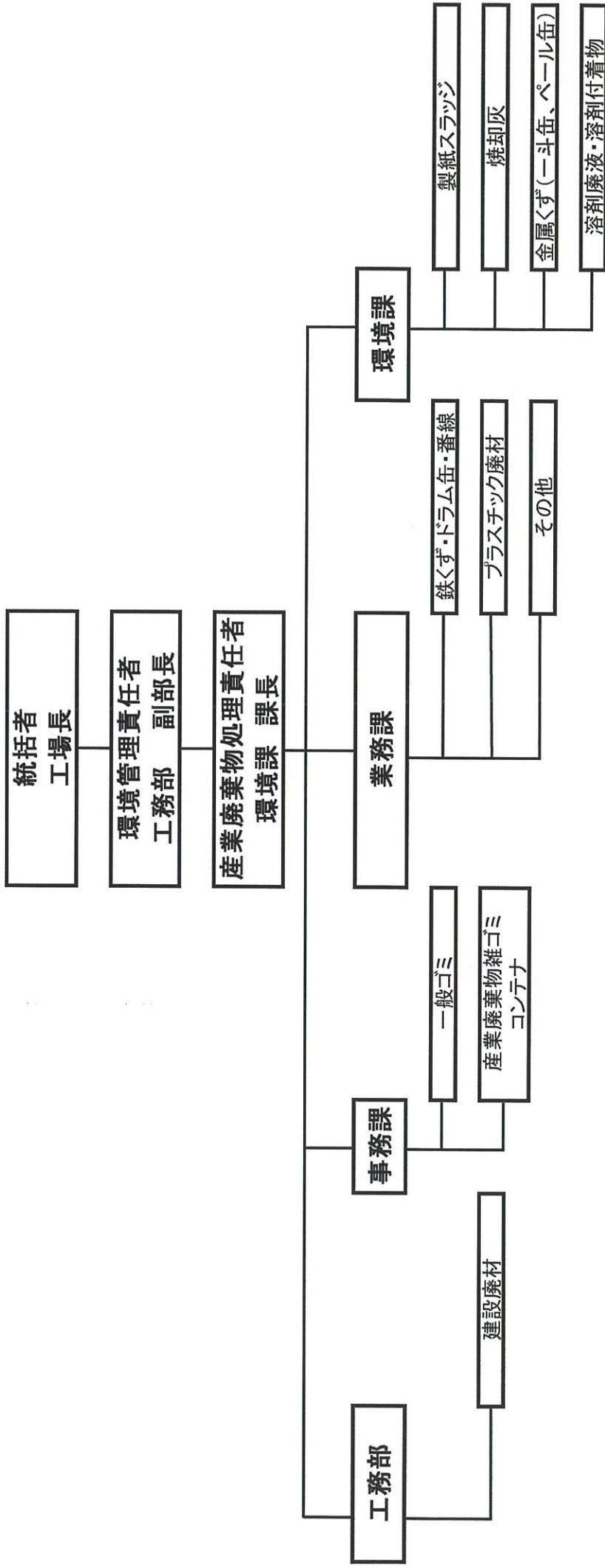
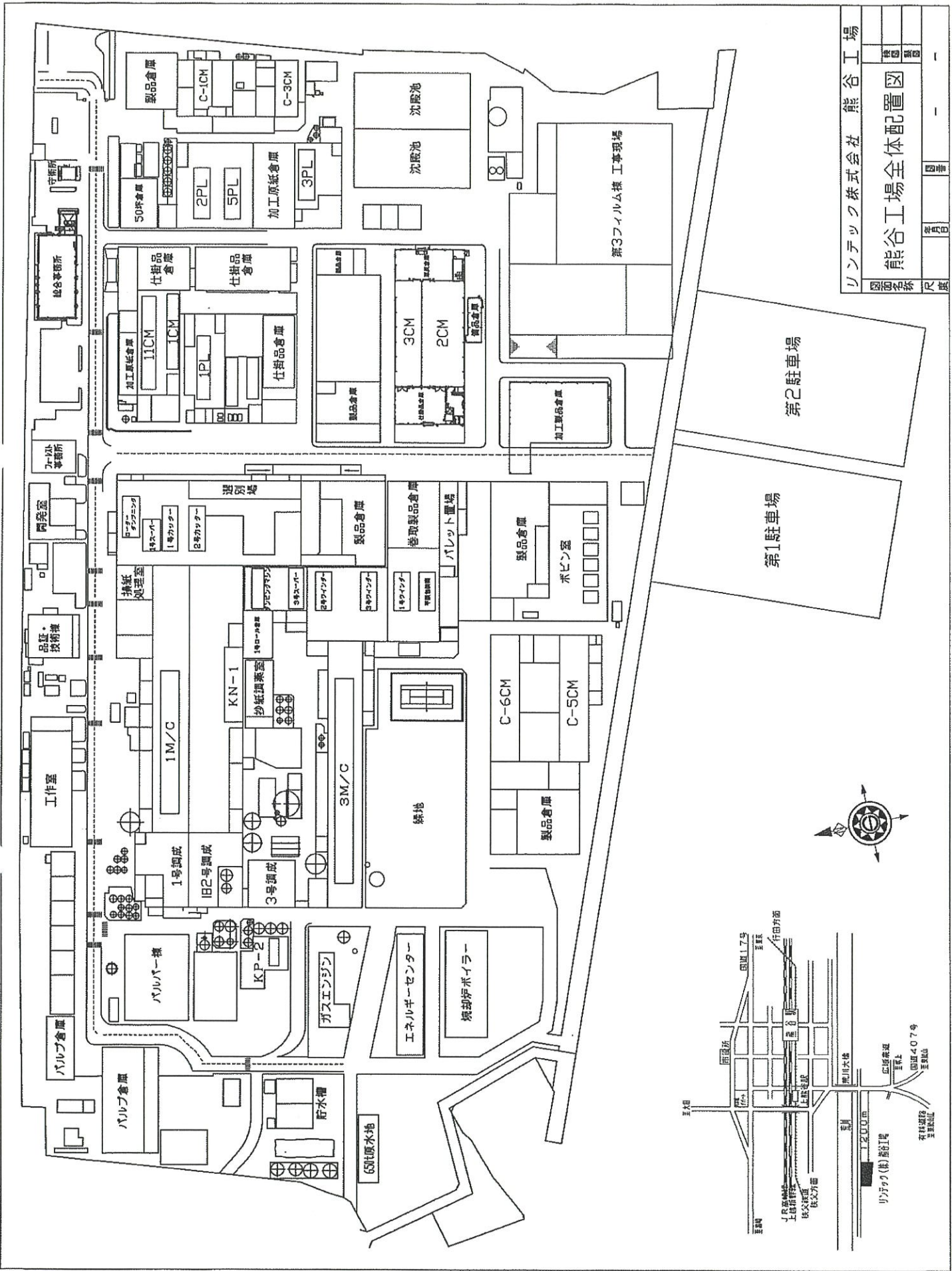
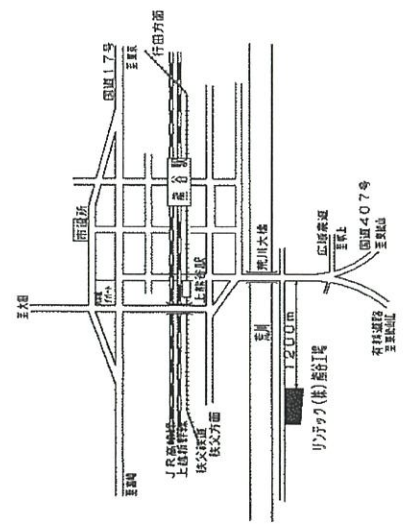
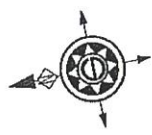


図-4 廃棄物処理管理組織図





図面名称	熊谷工場全体配置図
尺度	1:1000
書名	
図番	
頁数	1



リンデック株式会社 熊谷工場